



仙北市副市長に浦山氏

仙北市議会2月定例会最終日の3月19日に副市長選任案が追加提案され、1年9ヶ月務められた東海林文和氏（現秋田県資源エネルギー課長）の後任として、浦山清悦氏（62歳・田沢湖田沢字蟹沢口）が選任されました。

浦山氏は、昭和47年に田沢湖町役場に入り、農林課長、企画振興課長、仙北市となってから田沢湖地域センター長を歴任され、平成18年3月に定年退職されました。

退職された現在は、仙北市定住対策懇談会座長として、また田沢地区の住民で組織するNPOたざわ村副会長として、多方面にわたりご活躍されています。

元気なふるさと秋田づくり県民運動で2団体が表彰

県仙北地域振興局が主催する「元気なふるさと秋田づくり県民運動」の表彰式が2月22日、大仙市で行われ、活発な地域づくり活動をしている4団体と1個人が表彰されました。

仙北市からは、西木町「八津・鎌足カタクリ福寿草保存会（八柳正弘会長）」と「神代地域活性化推進協議会（佐藤貢一郎会長）」の2団体が表彰され、3月7日、石黒市長へ報告に訪れました。

八津・鎌足カタクリ福寿草保存会は、西明寺栗の栗園となっている私有地に群生するカタクリを皆さんに開放。入園者へお願いする協力金でポスターやマップを作成したり、交通整理をして『守る観光』を行っています。また、神代地域活性化推進協議会は、神代地区を元気にしていこうと発足したほか、平成18年2月には「おらホッの雪あそび」を開催し、馬そりを運行。平成19年3月には、地元食材を使い、一つの皿に昔懐かしいカレーと現代風のカレーの2種類を盛り、その上に目玉焼きをのせた「神代カレー」を考案し、全国に広めようとして取り組んでいます。



かくのだてフィルムコミッション シネマ文化賞受賞

映画やテレビのロケ支援をする「かくのだてフィルムコミッション」が、2月28日、日本ファッション協会主催の「シネマ夢倶楽部」より2007年度シネマ文化賞を受賞しました。

フィルムコミッションとしては全国初の受賞で、これまで「たそがれ清兵衛」や「隠し剣鬼の爪」「釣りバカ日誌15」など、多くの映画を誘致・支援してきた実績が評価されたもので、受賞した坂本洋会長は「これを励みに更なる活動の強化を図りたい」と話してくれました。



シネマ文化賞を受賞する坂本会長(右)

全国フィルムコミッション連絡協議会 「スキルアップセミナー＆ブロックセミナーinかくのだて」開催



2月28・29日の2日間、東北経済産業局後援のもと、全国フィルムコミッション連絡協議会とかくのだてフィルムコミッション主催による「スキルアップセミナー＆ブロックセミナーinかくのだて」が、角館交流センターで開催され、全国から関係者など約50人が参加しました。

東北のロケ支援関係者を対象としたセミナーに四国や九州からの参加もあり、全国各地のロケ支援に対する熱意が伝わってくる会議となりました。

ロケ地視察では、歴史ある武家屋敷通りや商店街を訪れた参加者たちは、一様に角館の町並みに感心しきりで、また別の季節に訪れたいと話していました。